

学習会



鹿敷地区、北内地区で 防災学習会

鹿敷地区、北内地区で、地震に対する意識を高めようと、高知大学の松岡裕美助教授を招いて防災学習会を開きました。両地区とも今年4月に自主防災組織が発足し、地域住民による防災への取り組みが開始されました。



消火栓の位置を確認(鹿敷地区)

「地震が起きたとき、まずどうすればいいの?」「地区内の地盤は緩いのですか?」など、積極的な質問や意見も多く出され、地域での防災活動の重要性を改めて確認することができた学習会でした。



避難経路などを確認(北内地区)



松岡助教授による講演(北内地区)

募集



木造住宅耐震診断 受診希望者を募集

いの町では、南海地震に備え、木造住宅の安全性の向上を図り地震に強い安全な住まいづくりを目指すために木造住宅耐震診断事業を実施しており、受診を希望される方を次により募集します。

診断方法

申込者の住宅を診断員が訪問し、申込者の立ち会いのもと、間取りの確認・床下や天井裏の点検口(開口部)から内部を直接見て調べます。

対象となる住宅

町内に所在し、次の要件を満たす木造住宅が対象となります。

- ①昭和56年5月31日以前に着工された建物で昭和57年1月1日までに竣工した階数が2階以下の建物
- ②併用住宅においては、居住の用に供されている部分があるもの
- ③枠組壁工法又は丸太組工法によって建築されたもの以外のもの

④大臣等の特別な認定を得た工法によって建築されたもの以外のもの

※プレハブ、ツーバイフォー、丸太組工法、鉄骨等を含む混構造の住宅は対象外です。

診断を受けることができる方町内に居住し、対象となる住宅の所有者で町税等の滞納がない方が対象となります。

診断費用
個人負担金として3千円(1棟あたり)必要です。

必要書類
総務課、各総合支所・出張所で配付の申込書に必要事項を記入のうえ提出してください。

申込・問い合わせ
総務課
☎ 893-1113
☎ 867-2314
☎ 869-2112

水道管の「冬じたく」をお忘れなく

気温が摂氏マイナス4度以下になると、水道管の水が凍ったり、水道管が破裂することがあります。特に水道管が次のような所にある場合は、防寒に注意してください。

- ◎日照時間の短い所にある場合
- ◎風当たりの強い所にある場合

このような所にある水道管は、ご家庭で次のような「防寒策」をお願いいたします。

- ☆簡単な凍結・破裂防止法
手近にある布などを露出している水道管に巻きつけて保温し、さらに上からビニールテープなどを巻きつけます。
- これは、先に巻きつけた布などの防寒材がぬれたため水道管を凍らせ破裂させることを防ぐためです。

気温が下がって、凍るおそれのある時は水を少しずつ出しておいてください。水道管が破裂してしまつては、たくさんのお水がムダになってしまいます。水道管にも温かい思いやりをお願いします。

上下水道課